

【樹木の部屋】

コデマリ（バラ科シモツケ属 *Spiraea cantoniensis*）

和名：コデマリ（小手毬） **別名**：スズカケ **英名**：Reeves spirea

バラ目 落葉低木 **原産地**：中国、

花言葉：優雅、上品、友情 **花の色**：白



← 写真-1 コデマリ

撮影日：2014年05月01日

撮影場所：信楽高原鉄道信楽駅前
(滋賀県甲賀市)にて

撮影者：M さん



→ 写真-2 コデマリの花

撮影日：2014年05月01日

撮影場所：信楽高原鉄道信楽駅前
(滋賀県甲賀市)にて

撮影者：M さん

滋賀県甲賀市の信楽で、毎年開催されている「陶器祭り」に出かけた際、見かけました。駅前の会場近くにある、飲食店の入り口に、植栽されていました。天気も良かったせいか、白い、手まりのように、映えていました。

名前の由来は、春に白の小さな花が丸く集まり、小さな手毬のように見えることからだそうです。日本では、よく庭木として植えられています。

コデマリの別名はスズカケ・・・。プラタナスの別名もスズカケノキ・・・ですが、コデマリをスズカケと呼ぶのは方言、プラタナスをプラタナスと呼ぶのは通称で、正しい日本名がスズカケノキだそうです。

コデマリは花の姿を、プラタナスは実の形を、それぞれ鈴懸に見立てて呼ぶそうです。鈴懸というのは山伏の衣についているポンポンのこと。一方では、ダンゴバナ（団子花）」の異名もあるそうです。

< ちょっと一言 >

花が大きくて、よく似た花にオオデマリ（大手鞠）がありますが、こちらはスイカズラ科で、コデマリとは全く別の植物です。別名「デマリバナ」。